


平成29年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
部長 石原 知之 	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、市民意識を把握し、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①透明で開かれた市役所をめざして、市政の情報と市民目線の広聴広報に取り組みます。</p> <p>②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。</p> <p>③市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			13人	2人	15人
		一般会計	397,462 千円		
		特別会計	27,668 千円		
		計	425,130 千円		
(うち人件費)	(115,205 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	シティプロモーションの推進と「広報せとうち」による重点施策の発信 瀬戸内市ロゴ（タグライン：まっすぐ、しあわせ。）によるブランド構築と市民の愛着度の形成を図ります。 併せて、マスコットキャラクター（セットちゃん）を広く発信することにより「瀬戸内市」の知名度の向上を図ります。 また、市政情報をわかりやすく市民に伝えます。	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内市ロゴやセットちゃんを活用したノベルティグッズを作成し、その活用により地域イメージの向上を図ります。 「ゆるキャラグランプリ」でのセットちゃんの100位以内を目指し、市の知名度の向上を図ります。 「広報せとうち」に特集記事（年4回）を掲載し、市政の情報をわかりやすく発信します。 	ロゴマークを掲載したステッカー、公用車用マグネット、旗の掲示をはじめ、セットちゃんファンクラブやSNSの活用により、瀬戸内市のキャッチフレーズやマスコットキャラクターのPRを進め、市内外の者に対し瀬戸内市のイメージ向上に努めています（セットちゃんの着ぐるみ、クリアファイルは作成中）。 「ゆるキャラグランプリ」については、幼稚園・	ロゴマークを掲載したステッカー、公用車用マグネット、旗の掲示をはじめ、セットちゃんファンクラブやSNSの活用により、瀬戸内市のキャッチフレーズやマスコットキャラクターのPRを進め、市内外の者に対し瀬戸内市のイメージ向上に努めています（セットちゃんの着ぐるみが完成し、機能的となったセットちゃん着ぐるみで積極的に各種のイベント等に参加し	<ul style="list-style-type: none"> ロゴマークとセットちゃんについては、グッズや着ぐるみの作成、セットちゃんファンクラブやSNSの活用により、地域イメージの向上を図った。 ゆるキャラグランプリについては、ご当地ランキング681体中、41位となり目標の100位以内を達成。知名度の向上を図った。 広報紙特集記事については、年4回を予定したが、折込チラシの利用に

				<p>保育園の直接訪問や広報紙を通じて投票を呼び掛けるなどにより、昨年の得票数を大幅に上回り、ご当地ランキング681体中、42位をキープしています。</p> <p>また、広報せとうちについては、シティプロモーションについての特集（8月号）を掲載するなど紙面の充実を図るとともに、情報がわかりやすく、見やすい紙面づくりに努めています。</p>	<p>ています。クリアファイルについては図柄を市内小中学校から募集し、作成済。各種イベント等で活用中）。</p> <p>「ゆるキャラグランプリ」については、幼稚園・保育園の直接訪問や広報紙を通じて投票を呼び掛けるなどにより、昨年の得票数を大幅に上回り、ご当地ランキング681体中、41位となり目標の100位以内を達成。</p> <p>また、広報紙については、シティプロモーションについての特集（8月号）や朝鮮通信使に関する特集（12月号）を掲載するなど紙面の充実を図るとともに、情報がわかりやすく、見やすい紙面づくりに努めています。</p>	<p>より2回となったが、予定のテーマは全て掲載。わかりやすい情報発信に努めることができた。</p>
--	--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	国際国内交流事業の推進	国際交流員の配置による国際交流と国際理解の推進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや観光用パンフレット等の多言語化を進めます。 ・欧州文化に対する理解を深めるため、国際交流員を講師にした言語・文化を理解する講座を開催します。 ・観光課と連携しインバウンドに取り組みます。 	7月下旬からフランス人の国際交流員を採用。現在は、市内の各イベント等に参加するなど瀬戸内市内の文化に触れる活動を行い、それらを通じて地元住民との交流を進めています。また、図書館において国際交流員が講師となって、フランスの文化等を紹介する講座を開催しました。なお、パンフレットの多言語化は現在検討中。また、観光課のインバウンドコーディネーターと連携しながら、SNSによる情報発信や備前長船刀剣博物館における通訳を行うなど、博物館への来客が最も多いフランス人観光客を中心に誘客活動を進めています。	7月下旬からフランス人の国際交流員を採用。現在は、市内の各イベント等に参加するなど瀬戸内市内の文化に触れる活動を行い、それらを通じて地元住民との交流を進めています。また、図書館において国際交流員が講師となって、フランスの文化等を紹介する講座を開催しました。また、観光情報等の多言語についても少しずつ取り組みを始めています。また、観光課のインバウンドコーディネーターと連携しながら、SNSによる情報発信や備前長船刀剣博物館における通訳を行うなど、博物館への来客が最も多いフランス人観光客を中心に誘客活動を進めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス人国際交流員を採用。市民との交流、フランス文化等の紹介、観光情報等の多言語化等の取り組みを進めた。 ・観光課のインバウンドコーディネーターと連携し、SNSによる情報発信や備前長船刀剣博物館での通訳を行い、博物館への来客が最も多いフランス人観光客を中心に誘客活動を進めた。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	地方創生の推進	<p>移住下見ツアーの開催や旧牛窓診療所を地域のにぎわい拠点として再整備するなど、地方創生関連事業を計画的に取り組み、移住・定住施策の推進を図ります。</p>	<p>推進交付金事業を計画的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者会議の開催 ・移住PR動画の放映 ・移住下見ツアーの開催 <p>・ふるさと教育カリキュラムの制作</p> <p>・旧牛窓診療所拠点整備の推進</p> <p>分譲宅地の早期完売を目指します。</p> <p>H29年度販売目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東町ひまわり団地 2区画 ・牛窓西浜団地 3区画 	<p>7月末に外部有識者で構成される「瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議」を開催し、昨年度実施した地方創生関連交付金を活用した事業について、効果の検証を行いました。</p> <p>移住PR動画については、12月16日から1週間、年間観客動員数100万人規模の7劇場にてCM上映します。</p> <p>移住下見ツアーについては、移住を希望する岡山県外の方を対象に2回の実施を計画しており、1回目を11月に開催することとしています。</p> <p>郷土愛の醸成のためのふるさと教育カリキュラムの制作については、小学3年生又は4年生の社会科の授業で使用できる副教材を作成中であり、年内の完成を見込み、来年度の授業に使用できるように進めています。</p> <p>旧牛窓診療所の拠点</p>	<p>移住PR動画については、12月16日から1週間、東京・大阪の8劇場で計270回のCM上映を行いました。</p> <p>上映期間中は、1万1千人を動員し、市及び移住の魅力を発信することができました。</p> <p>移住下見ツアーについては、第1回を11月に開催し、参加者数が予定を下回りましたが、当該参加者の移住実現に向けた支援を引き続き行っています。</p> <p>3月末に第2回目のツアーの開催を予定しています。</p> <p>旧牛窓診療所の拠点の整備については、耐震補強工事等の発注を12月に行い、現在工事を実施しています。</p> <p>また、民間事業者公募のための要綱を策定するため、9月からサウンディング調査を実施しました。</p> <p>調査には民間事業者3社が参加し、活用提案や希望条件などを聞き取りまし</p>	<p>移住下見ツアーは、3月24日から一泊二日で開催し、11組17人の参加がありました。</p> <p>教育委員会の監修により小学生向け副教材を作成し、各小学校に配付、30年度からの授業での活用を依頼しました。</p> <p>旧牛窓診療所拠点施設整備事業は、耐震補強工事、防水工事など平成29年度に予定していた工事を年度末までに終わることができ、活用事業者の公募要綱案も年度内に概略案の策定を完了しました。</p> <p>分譲宅地の売却は目標に届かず、東町ひまわり団地1区画の売却のみでした。</p>

				<p>整備については、耐震診断業務完了後、8月に耐震補強等の設計業務を契約し、12月中の工事発注に向けて設計を進めています。また、民間事業者の公募に向けて、8月に民間事業者向けの視察ツアー及び牛窓診療所の未来を考えるトークイベントを行い、民間事業者10社、市民等65名の参加がありました。</p>	<p>た。これを踏まえて、3月末に公募要綱案を策定することとしています。</p>	
--	--	--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------	--

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	新たな地域内交通の導入	地域公共交通会議を定期的開催し、新たな公共交通の導入を推進します。	<p>定期的な地域公共交通会議の開催（年間4回）</p> <p>地域公共交通会議で合意された事業の早期実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存バス路線の増便 ・定時定路線バス（市町村運営）の早期導入 ・タクシー活用制度の早期導入 ・公共交通未検討地域で意見交換会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月27日に第1回地域公共交通会議を実施しました。 ・6月1日から虫明・長島愛生園線の増便運行を開始しました。 ・市営バス3路線の11月運行開始に向け、最終調整中です。 ・公共交通未検討地域（4か所）で意見交換会を開催しました。 	計画どおり、平成29年11月1日から市営バス3路線とタクシー活用制度を導入しました。	市営バスは、乗客数が一便あたり平均1人と目標の3人に及ばず伸び悩んでいることから、職員有志によるWGを立ち上げ、活用推進策について協議しました。タクシー活用制度は、年度末までに41人から申請があり、1,164枚のチケットを交付し862枚の利用がありました。（利用率74.1%）
5	市民協働の推進	新たな自治組織制度の検討と市民活動応援補助金等の見直しを進めます。	<p>制度に対する理解を図るため地域（概ね旧村単位）での説明会、ワークショップを開催します。</p> <p>「一括交付金制度」の導入を見据え、新たな自治組織の立ち上げや支援に繋がるよう現行の「市民活動応援補助金」の見直しを検討します。</p>	地域課題やその解決策について、市民同士がワークショップ形式で話し合い、問題意識や地域運営への関心を高めることを目的とした「これからの地域を考える会」を7月22日～9月30日にかけて21回行い、延べの参加人数は314人でした。	1月20日に鹿忍地区で、地域での課題解決に向けた取組を進めるための勉強会を、島根県雲南市阿用地区振興協議会の会長を講師に迎え、開催しました。参加者は45人でした。	これからの地域を考える勉強会を2月17日に豊原地区及び本庄地区で開催し、それぞれ14人、25人の参加がありました。地域の代表者による瀬戸内市協働のまちづくり推進委員会と市職員で構成する瀬戸内市協働推進員の合同勉強会を3月1日に開催し、推進委員13人、推進員17人が参加、津山市の担当者から事例を学び、自治組織の今後を検討しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	自治基本条例の見直し	自治基本条例は、本市の最も尊重すべき条例であることから、適切な見直しを行います。	自治基本条例の規定がその時代や社会情勢に適合しているか、また市民の皆様と共有する自治のルールとして分かりやすい内容となっているかなどを検証し、必要な見直しを行います。	9月議会において、瀬戸内市自治基本条例審議会条例が制定されました。条例に基づき、審議会を実施するため、委員の選定を始めています。審議会は来年1月までに3回実施する予定です。	審議会委員の選定に時間を要している関係で、まだ会議を開催できていない。2月～3月中に諮問会議を開催し、来年度の答申とする計画としている。	3月13日に第1回目の自治基本条例審議会を開催し、6人の委員を委嘱し、初回会議は条例の概要と改正の必要性について協議しました。平成30年度も数回の会議を開催し、改正の是非や内容を協議し、答申する予定としています。